2016/7/26 「とびひ」に抗生物質が効かない？
http://home.hiroshimau.ac.jp/kohog/press/h14/0205241.html 1/1
平成１４年　５月２４日
報道機関　各位
広島大学総務部大学情報室長
西　田　良　一
「とびひ」に抗生物質が効かない？
　本学大学院医歯薬総合研究科細菌学教室の菅井基行教授のグループが，「とび
ひ」（＊１）の研究で，「とびひ」を起こす黄色ブドウ球菌が特定のＭＲＳＡ （＊２）として
地域に広がっているのを世界で初めて実証し，５月１５日付けの アメリカ感染症学会
誌（＊３）に発表しました。
　この中で，今後，「とびひ」などを起こす菌の薬剤耐性化がさらに進む可能性 があ
り，治療が難しくなる（抗生物質が効かない）ケースが増えることが予想さ れています
のでお知らせします。
（＊
１）
「とびひ」は多くが，黄色ブドウ球菌がひき起こす水疱を伴う皮膚の感染症のこと
です。
（＊
２）
ＭＲＳＡ（メチシリン（抗生物質の一種）耐性黄色ブドウ球菌，Methicllin-Resistant
Staphylococcus aureus の頭文字をとったもの）とは，ペニシリン系の抗生物質が
効かなくなった黄色ブドウ球菌のことです。
（＊
３）
The Journal of Infectious Diseases
【お問い合わせ先】
広島大学大学院医歯薬総合研究科
教授　　菅井　基行
ＴＥＬ：（０８２）２５７－５６３５
［発信枚数；Ａ４版　３枚（本票含む）］
○研究発表概要